

「親子ふれあいミーティング」開催モデル事業

青少年育成茨城県民会議では、家庭や地域社会の教育機能を高めていくために、県内5地区を指定して、親子、地域の青少年育成者関係者が一堂に会し、家庭や地域のあり方などについて意見交換を行う「親子ふれあいミーティング」モデル事業を実施しました。

実施に当たっては、指定を受けた地区において、青少年育成市町村民会議やPTAなどの団体が軸となって、学校や様々な地域の関係団体による運営（実行）委員会を組織して、数多くの会議を重ね、地域の特色が溢れた内容となりました。当会議からは、これらの実施地区へ担当役員をアドバイザーとして派遣し、実施団体と協働で開催しました。

12/6(土) 神栖二中学区子ども育成連絡協議会（神栖市）

テーマ

「子ども（親）が親（子ども）に期待すること」、「地域の大人に期待すること」

工夫した点

構成的グループエンカウンター（分科会の雰囲気が和やかになった。）



挨拶は自分からしていますか（全体会）

主な内容 構成的グループエンカウンター、分散会、全体会

参加者の声

- ・家庭では、笑顔や挨拶、お互いが優しい気持ちになる言葉を使うことが大切である。
- ・地域では、子どもたちの安全・安心の確保と地域全体の教育力の向上、コミュニティづくりの3つを一緒にしていくことが大切である。

1/25(日) 日立市立大久保中学校父母と先生の会親父倶楽部



お見事!「グループでの家のルール」完成

テーマ

「我が家のルール」

工夫した点

事前アンケート（全家庭・地域関係者にアンケートを実施し、当日の資料に活かした。）

主な内容

基調講話：（財）モラロジー研究所 青木靖先生、グループワーク、意見交換、まとめ

参加者の声

- ・いろいろなルールがあつたりして楽しかった。
- ・自分の意見がしっかり言えて良かった。家でも話し合いで決めたい。
- ・地域の人たちと話す機会があつて、親の意見も聞けて良かった。

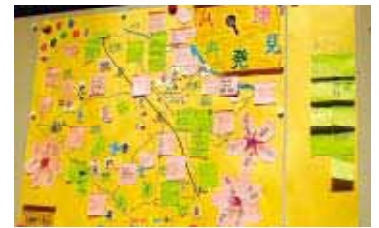
1/25(日) 青少年育成那珂市民会議

テーマ

「瓜連再発見（家庭では・地域では）」

工夫した点

「遊び」をテーマに地域マップづくり（小学生の分科会）



瓜連再発見マップの完成

主な内容 分科会、全体会、ふれあい昼食会、アトラクション（ハーモニカ演奏（オープニング）、読み聞かせ（分科会終了後））

参加者の声

- ・話し合いが楽しかった。読み聞かせがおもしろかった。
- ・まわりのみんなも私と同じような意見を持っていた。
- ・子ども達の生き生きとした姿をみて、とても未来を感じた。地域の方に感謝するよい機会となった。

2/8(日) 青少年育成美浦村民会議

テーマ

「親（子）の好きなところ、親（子）に望むこと」

工夫した点

分科会を2回に分けて実施（子どもと大人の和む環境づくりをめざした）



2回目の分科会（子と大人合同）

主な内容 講演：立教女学院短期大学教授 今井和子先生、分科会、全体会、親子ふれあい会食、親子ふれあい箸置き作り

参加者の声

- ・「勉強しろ」と言われることは、うるさいとは感じない。
- ・自分の話を聞いて欲しい。兄弟や他人と比べないで。
- ・地域の大人・高齢者と子どもがもっとふれあいを持つべきである。

2/14(日) 青少年育成桜川市民会議

テーマ

「今、なぜ勉強するのですか。」

工夫した点

レクリエーションを取り入れた。（話し合いの雰囲気づくり）



活発な意見交換（全体会）

主な内容 レクリエーション、分散会、全体会、アトラクション（加波山囃子）

参加者の声

- ・勉強の大切さは解かるが楽しいことに向いてしまう。
- ・親子で話し合うことの大切さを知った。
- ・子どもの気持ちを理解して、勝手に期待しないようにしたい。

【詳しい内容は、ホームページでご覧になれます。】